

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(アート研究)	蔣 燕萍	4単位 94.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	講義
19	講義	36	試験
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語(アート研究)	メロス言語学院講師	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	アート研究コース ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(アート研究)	専任教員	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		

121	～125 制作、個別指導
126	～130 制作、個別指導
131	～135 制作、個別指導
136	プレゼンテーション、合同講評会

【成績評価方法】

課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。
 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。
 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。

工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。

岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	アート研究コース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座・就職セミナー	ゲスト講師	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
<p>7/10(土)就職セミナー1、10/9(土)同窓会特別講座、10/13(水)知的財産権、10/30(土)就職セミナー3、12/11(土)創形展特別講座＊日程は出講表を確認すること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	同窓会特別講座		
3	知的財産権講座		
4	就職セミナー3		
5	創形展特別講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	アート研究コース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	修了制作	専任教員、飯田 淳	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
【講義概要】			
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		

121	～125 制作、個別指導
126	～130 制作、個別指導
131	～135 制作、個別指導
136	プレゼンテーション、合同講評会

【成績評価方法】

課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。
なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。
合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。

工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。

岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー/アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員

飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(アート研究)	蔣 燕萍	4単位 94.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	講義
19	講義	36	試験
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語(デザインビジネス)	メロス言語学院講師	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	デザインビジネスコース・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	総合研究(デザインビジネス)	専任教員	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
【講義概要】			
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		

121	～125 制作、個別指導
126	～130 制作、個別指導
131	～135 制作、個別指導
136	プレゼンテーション、合同講評会

【成績評価方法】

課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。
 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。
 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。

工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。

岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	デザインビジネスコース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座・就職セミナー	ゲスト講師	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
【講義概要】			
7/10(土)就職セミナー1、10/9(土)同窓会特別講座、10/13(水)知的財産権、10/30(土)就職セミナー3、12/11(土)創形展特別講座＊日程は出講表を確認すること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	同窓会特別講座		
3	知的財産権講座		
4	就職セミナー3		
5	創形展特別講座		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とする。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	デザインビジネスコース ・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション表現	谷口広樹	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目的に合う演出力と創造性を自身の表現のために身につけていく			
【講義概要】			
イラストレーションによる表現で実際のメディアに落とし込みながら、現実的な問題と理想とすることの溝を埋めていき、それぞれのオリジナリティを強化させていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講師紹介およびイラストレーションについての講義+課題1 発表		
2	授業内制作 A		
3	課題1 中間チェック(個別) 授業内制作 B		
4	課題1 最終チェック(個別) 授業内制作 C		
5	課題1 プレゼンテーション+講評		
6	課題2 発表 授業内制作 D		
7	課題2 中間チェック(個別) 授業内制作 E		
8	課題2 プレゼンテーション+講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター、グラフィックデザイナー、画家。「絵」を描くという思考のもとに培った、他のクリエイターとは異なるクリエイティブセンスを持って、広告、出版、装飾、壁画、プロダクトなど多岐にわたる仕事を融通無碍にしている。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	デザインビジネス コース・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
5	ポートフォリオの説明(プレゼンテーション)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネスコース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	研究テーマ制作	専任教員、飯田 淳	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。</p>			
【講義概要】			
<p>オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		

131	～135 制作、個別指導
136	プレゼンテーション、合同講評会

【成績評価方法】

課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格 (59～0：D) 仮処置：保留

【授業の特徴・形式と教員紹介】

実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。

山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。

工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリーエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。

岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員

飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2020年度	デザインビジネスコース・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	就活ポートフォリオ／インターンシップ	上野仁志、山本哲次	4単位 93時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>仕事に対する意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。</p> <p>インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。</p>			
【講義概要】			
<p>自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。就業体験（インターンシップ）をし、実習レポートをまとめて提出。（希望選択制）</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	1回目（講義：ポートフォリオについて）	18	ポートフォリオチェック
2	ポートフォリオチェック	19	制作
3	講義（面接・プレゼン）	20	個別アドバイス
4	制作	21	制作
5	ポートフォリオチェック	22	ポートフォリオチェック
6	制作	23	制作
7	ポートフォリオチェック	24	個別アドバイス
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	2回目（講義：クリエイティブの就職について）	27	ポートフォリオチェック
11	制作	28	制作
12	ポートフォリオチェック	29	制作
13	制作	30	制作
14	制作	31	4回目（講義：クリエイティブの就職について）
15	3回目（講義：クリエイティブの就職について）		
16	制作		
17	制作		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義及び実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI.VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。</p> <p>上野 仁志：1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2021年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(アート研究)	蔣 燕萍	4単位 94.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	講義
19	講義	36	試験
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心のない物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。</p>			
【講義概要】			
<p>ベラスケスやデュシャン、岡本太郎・山田正亮や草間彌生などを通して絵画が成り立つ仕組みを知り、現代美術を中心に古今東西の絵画を見ながら、それぞれの絵画がどういうふうになられ、どう見えるのかを一緒に考えていきます。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、「連想＝自分の言葉に置き換え」で絵画をわかる		
2	絵具の状態が色や形にどう変わっているのか、いないのかを見て絵画をわかる		
3	絵画はミディアム(絵具などの材料や技法)の多様性に応じた数だけ表現がある		
4	絵画の問題群①モダニズム、アンチモダニズム、ポストモダニズム		
5	絵画の問題群②トランスモダニズム、ソーシャル・プラクティスとしての美術		
6	絵画の問題群③芸術の現実化と現実の芸術化の相剋を超えて		
7	絵画は物なのか？正面と斜め、平面体としての絵画		
8	絵画は光なのか？絵具という物質が光を生みだすとき		
9	絵画を周遊する①制作と見ることの現場から		
10	絵画を周遊する②制作と見ることの現場から		
11	絵画を周遊する③制作と見ることの現場から		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形 専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
5	ポートフォリオの説明(プレゼンテーション)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語(美術進学/絵画造形専攻分野)	メロス言語学院講師	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形 専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形 専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形 専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2021年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画造形総合研究ゼミ1	工藤礼二郎	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2021年度	美術進学コース絵画造形専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵画造形総合研究ゼミ2	工藤礼二郎	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2021年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(アート研究)	蔣 燕萍	4単位 94.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力を付けること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	講義
19	講義	36	試験
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。 現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓けることを目標とします。</p>			
【講義概要】			
<p>現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓けることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語ですが、それは版による画（え）を意味し、版の表現を強く意識したものでした。そうした版画についてルーツをたどりながら理解を深めることを目標にします。</p>			
【講義概要】			
<p>始めに木版画や銅版画など様々な版画について実際の作品や版をみたり画像を通じたりしながら紹介していきます。その後、浮世絵版画や日本の近・現代の版画を中心にしてみています。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	作品鑑賞と版画について		
2	版画技法の流れ（木版画・銅版画）		
3	版画技法の流れ（石版画・スクリーンプリント）		
4	浮世絵版画（1）		
5	浮世絵版画（2）		
6	司馬江漢と腐食銅版画		
7	幕末から明治期の版画（1）		
8	幕末から明治期の版画（2）		
9	日本近代版画の出発点		
10	「月映」とその仲間たち		
11	現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		
12	時代の寵児 池田満寿夫の世界		
【成績評価方法】			
<p>課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1959年新潟県生まれ 東京藝術大学卒業 町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012～2020年） 版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
5	ポートフォリオの説明(プレゼンテーション)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語(美術進学/版画専攻分野)	メロス言語学院講師	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部 (1年制)	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ1	鈴木吐志哉	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース版画専攻分野・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミ2	鈴木吐志哉	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。			
【講義概要】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語(美術進学 デザイン)	蔣 燕萍	4単位 94.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。 ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
【講義概要】			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	講義
9	講義	27	講義
10	講義	28	講義
11	講義	29	講義
12	講義	30	講義
13	講義	31	模擬試験
14	模擬試験	32	講義
15	講義	33	講義
16	講義	33	講義
17	講義	34	講義
18	講義	35	講義
19	講義	36	試験
【成績評価方法】			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	クリエイティブ概論	上野仁志	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
「クリエイティブでのデザインとは何か?」デザイナーとしての「知識」と「発想力」を得ることを目標とします。			
【講義概要】			
デザイナーの役割を得るための講義と、デザインに重要な「発想力」を得るための実習を実施します。講義では、制作物を素に解説。実習では、自ら課題を設定し、個別ワーク、グループワークを体験する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	デザイナーに求められる力		
2	広告業務におけるデザイナーの役割		
3	デザイナーとポスター		
4	デザイナーとパッケージ		
5	デザイナーと撮影		
6	デザイナーと映像		
7	デザイナーとWEB		
8	発想力演習1-1		
9	発想力演習1-2		
10	発想力演習1-3		
11	発想力演習2-1		
12	発想力演習2-2		
13	発想力演習2-3		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクターを経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	ポートフォリオ講座	上野 仁志	1単位 15時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。</p>			
【講義概要】			
<p>初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	ポートフォリオに関する説明会、制作する上での注意点など。学生のポートフォリオのチェック。		
2	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
3	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
4	ポートフォリオのチェック、アドバイス		
5	ポートフォリオの説明(プレゼンテーション)		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	芸術概論	新川 貴詩	1単位 22.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<p>本講義では、現代美術を読み解く力を養うことを目的とする。また、日本語読解力の向上も目標とするため、現代美術に関する論文や記事など各種の文献講読を中心に講義を進めていく。</p>			
【講義概要】			
<p>20世紀末から今世紀にかけての現代美術を中心に考察する。個々の美術作品やアーティストたちに関する解説のみならず、国内外の美術動向やシーンの変遷、美術館や美術教育など文化環境、国や自治体の文化政策など多角的な視点で同時代の美術について検証する。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	研究計画書とはどんなものかを知る		
2	研究課題を決める		
3	研究課題を決める 発表・コメント・添削		
4	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く		
5	骨組みになる文章を書く 研究目的を書く 発表・コメント・添削		
6	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える		
7	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景の内容と構成を考える 発表・コメント・添削		
8	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く		
9	骨組みになる文章を書く 研究動機・背景を書く 発表・コメント・添削		
10	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く		
11	骨組みになる文章を書く 研究意義を書く 発表・コメント・添削		
12	骨組みになる文章に先行研究を引用する		
13	研究方法を書く		
14	研究方法を書く 発表・コメント・添削		
15	研究計画書の発表・コメント・添削		
【成績評価方法】			
<p>試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。</p> <p>1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語(美術進学/デザイン)	メロス言語学院講師	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	2単位 45時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
大学院合格まで授業や個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	発表		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍	2単位 51時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	模擬小論文		
5	講義		
6	講義		
7	小論文・研究計画書など書くものについての説明		
8	模擬小論文		
9	研究計画書・小論文の返却/講評		
10	講義		
11	研究計画書・小論文の返却/講評		
12	添削した文章についてのポイント解析		
13	模擬小論文		
14	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
15	講義		
16	研究計画書・小論文・出願書類の返却/講評		
17	発表		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション研究A	谷口広樹	1単位 30時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける。			
【講義概要】			
大学院進学を踏まえ、課題制作を通してそれぞれの研究テーマを強化させていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講師紹介およびイラストレーション についての講義		
2	課題 1 発表 授業内制作 A+面談		
3	課題 1 中間チェック(個別) 授業内制作 B		
4	授業内制作 C+面談		
5	課題 1 最終チェック(個別) 授業内制作 D		
6	授業内制作 E+面談		
7	課題 1 プレゼンテーション+講評		
8	課題 2 発表 授業内制作 F+面談		
9	課題 1 中間チェック(個別)& 面談 授業内制作 G		
10	課題 2 プレゼンテーション+講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター、グラフィックデザイナー、画家。「絵」を描くという思考のもとに培った、他のクリエイターとは異なるクリエイティブセンスを持って、広告、出版、装飾、壁画、プロダクトなど多岐にわたる仕事を融通無碍にしている。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	イラストレーション研究B	都築 潤	1単位 21時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
イラストレーションについての考察。イラスト作成に必要な基本的な予備演習を行います。			
【講義概要】			
<p>イラストトレーニング、既存のメディアへのイラストの実装</p> <p>1:メディアやテーマの要求に応えるためのイラスト制作</p> <p>2:イラストレーション、ビジュアルデザインについての考察。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題1 ガイダンス/出題		
2	連動案考案		
3	表紙・見開き制作+チェック		
4	表紙・見開き制作		
5	講評会		
6	課題2 出題		
7	発表		
【成績評価方法】			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
<p>講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。</p>			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース ・IL/GD・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ1	関根 慎一	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
【講義概要】			
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース ・IL/GD・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ2	関根 慎一	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
【講義概要】			
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京芸術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LD デザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース ・A & C・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション&コミック総合研究ゼミ1	岡山拓史	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。			
【講義概要】			
映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コース ・A & C・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	アニメーション&コミック総合研究ゼミ2	岡山拓史	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。			
【講義概要】			
映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部（1年制）	2021年度	美術進学コースデザイン・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択実技	特別授業	澤田泰廣	単位 6時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
大学院におけるデザイン研究のレベルと、その取り組み方の理解を目標とします。			
【講義概要】			
多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィックデザイン研究領域について。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	作品ファイルのチェック、及びアドバイス。		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1985年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。サントリー（株）宣伝制作室を経て、1989年澤田泰廣デザイン室設立、現在に至る。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科教授。			